

インフォメーション

開館時間 10:00—17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日 (祝日や振替休日の場合は開館)、年末年始、点検期間

一般 / シニア(65歳以上) / 大学生 300円

入館料 中学・高校生以下 無料

・久留米市美術館入館券を提示の場合、無料で入館できます。

空路 福岡空港より西鉄高速バスで50分(文化センター前下車)

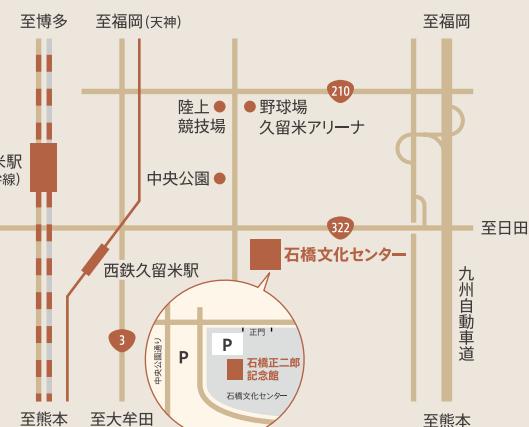
電車 JR博多駅よりJR久留米駅まで新幹線で20分、快速で40分

西鉄福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分

交通 バス JR久留米駅より西鉄バスで15分、西鉄久留米駅より5分(文化センター前下車)

車 久留米インターより10分(石橋文化センター内に有料駐車場あり)

※おおよその時間で記しています。



石橋正二郎記念館
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015
Tel 0942-39-1131 | Fax 0942-39-3134
www.ishibashi-bunka.jp/kinenkan



石橋正二郎記念館



石橋正二郎記念館について

石橋正二郎記念館は、石橋文化センター開園60周年を迎えた2016年11月に、石橋美術館別館を改修し、公益財団法人石橋財団より久留米市に寄贈されたものです。

石橋正二郎は生涯を通じて、故郷である福岡県久留米市の発展に尽力しました。郷里の発展と文化振興を願い建設した石橋文化センターは、1956年の開園当初から多くの人々に親しまれるとともに、時代の要請に応じてその姿を変えてきました。当記念館では、その芸術文化の拠点としての変遷と、石橋正二郎の歩みやひとりなりを伝える様々な資料を紹介しています。



石橋正二郎 (1889-1976)

ブリヂストンタイヤ株式会社(現・株式会社ブリヂストン)の創業者である石橋正二郎は、1889年、福岡県久留米市に生まれました。正二郎の熱意は社会事業や文化振興にも向けられ、正二郎が遺した数多くの施設や美術コレクションは、郷里・久留米をはじめ世界各地で今も大切にされています。

久留米が生んだ石橋正二郎

事業

事業を成長させて
世の中のためになることをしたい

17歳で仕立て物屋を継いだ正二郎は、足袋専業にして売り上げを伸ばし、ゴム靴へと事業を広げます。1930年には国産のタイヤづくりに成功し、現在のブリヂストンを設立。世界的なタイヤメーカーへと成長させました。

教育

人々が生きがいをもった
ゆたかな社会をつくりたい

正二郎は生涯にわたって学校や美術館など、多くの寄付・寄贈をしてきました。これらのおくりものは、久留米だけでなく、世界中で今も大切にされています。

芸術 文化

みんなに美術作品をみてもらい
芸術の発展につくしたい

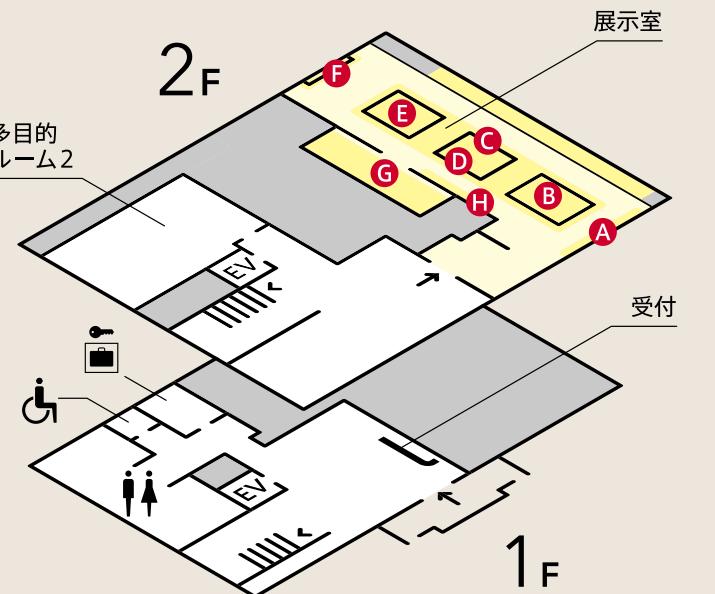
久留米市出身の画家、坂本繁二郎との出会いをきっかけに、正二郎は美術のコレクションをはじめます。今では石橋財団コレクションとしてさらに幅を広げ、多くの人々に芸術の楽しみを伝えています。

音声ガイド

石橋正二郎が行った文化事業を中心に、正二郎の事業と功績を紹介するガイドです。館内にあるQRコードから専用Wi-Fiに接続して音声ガイド(日・英・中簡・中繁・韓)をお楽しみください。

※展示室で音声ガイドをご利用の際は、スマートフォンで小さな音でお聴きいただくか、イヤホンをご使用ください。

展示室のご案内 展示室では様々な資料で石橋正二郎のあゆみを振り返ることができます。



A 壁面展示

当時の貴重な写真や資料を交えながら、石橋正二郎の事績を〈事業、教育、芸術・文化〉の3つの視点から紹介します。



B 石橋正二郎の挑戦

足袋の製造からはじめ、地下足袋、ゴム靴、そしてタイヤからさまざまなゴム製品まで。石橋正二郎の手がけた事業の広がりを、模型や当時の広告資料とともにたどります。



C 時代とあゆむ石橋文化センター

1956年(昭和31年)に開園した石橋文化センター。長年にわたり人々に寄り添いながら、時代とともに広がっていった石橋文化センターの姿を紹介します。



D キーワードでたどる正二郎

55インチの大型タッチディスプレイにちりばめられたさまざまなキーワードをタップしながら、石橋正二郎のひとりなりや想いをたどります。



E 情報ライブラリー

石橋美術館60年間の展覧会図録や石橋文化センターの歩み、石橋正二郎に関するさまざまな記録などを、マルチメディア資料として公開します。



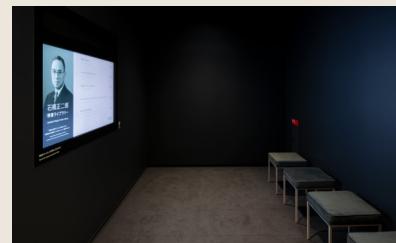
F 石橋正二郎と美術の世界

石橋正二郎が収集した、青木繁や藤島武二、セザンヌなどの美術コレクションの数々や、世界の美術館をめぐった旅の軌跡を大型ディスプレイで紹介します。



G 映像視聴コーナー

石橋文化センターの記録や石橋正二郎の生涯や事業、美術活動を映像で紹介します。



H 石橋正二郎のあゆみ(年譜)

ブリヂストンをはじめとする企業経営者としての足跡と、文化振興を中心とする数々の事績を年譜で紹介します。

